

小4～

空気の汚れを調べてみよう

何人でも

空は何色？

1時間

屋内

概要

空気の色を想像させることにより、大気に関心を向けさせる。

ねらい

空気という無色透明で、実態のないものを表現することによって、自然に対する感性を磨き、その意見を周囲と共有することによって、自然に対する人間の感性の多様さを学ぶ。

準備物

紙

筆記用具

写真パネル（青空、夕暮れの空、工場や自動車などから出る煙、森林の中の様子、きれいな川の流れる様子、雪が積もった様子、砂漠 など）

進め方

活動	時間	内容	注意事項
導入	10分	・教室の中のさまざまなものを例示し、その色を問う。 ・外に出て、さまざまなものを例示し、その色を問う。	
展開	30分	・自分が思う「空気の色」を書き出し、その理由も書く。 ・グループ毎に、各自の「空気の色」およびその理由を紹介する。 ・発表を受け、お互いに感想を出し合う。（気づいたこと、あらためて考えたことなど）	
まとめ	20分	・各自の意見を簡単に紹介してもらい、全体で意見を共有する。 ・空の色は青かったり、夕暮れには黄色やオレンジ色になる。また水蒸気は白で、物を燃やしたときの煙は黒かったり灰色だったりする。みんなが見た「空気の色」はどんな状態の空気なのかを考えてみる。	

(授業の場合 計45分×2)

解説

空気にはいろいろな成分があり、いろいろなものが浮遊していたりすることを想像し、大気汚染について学ぶための導入として利用する。